

製品名: Tcl1 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86659

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.09mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:1000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:200-1:500
分子量	Calculated MW:14 kDa; Observed MW:14 kDa

抗原情報

遺伝子名	Tcl1
別名	TCL1
遺伝子 ID	8115
SwissProt ID	P56279
免疫原	ヒト Tcl1 の合成ペプチド

背景

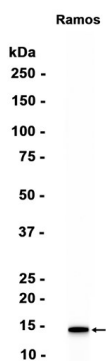
ヒトにおける TCL1 遺伝子の過剰発現は、成熟 T 細胞白血病の発症に関与していることが示唆されています。この病態では、染色体再

編成により TCL1 遺伝子が T 細胞抗原受容体 (TCR) α (MIM 186880) または TCR- β (MIM 186930) 調節因子に近接します (Virgilio ら、1998 年 [PubMed 9520462]による要約)。正常な T 細胞では、TCL1 は CD4-/CD8-細胞で発現しますが、分化後期の細胞では発現しません。TCL1 は、細胞生存キナーゼ AKT (MIM 164730) のコアクチベーターとして機能します (Laine ら、2000 年 [PubMed 10983986])。[OMIM 提供、2010 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



Tcl1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した Ramos 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。